

(3) 令和 2 年度稲美町住民アンケート調査結果空き家関連の自由記述抜粋について

対 象 町内在住の全世帯（10,750 世帯）

調査方法 9 月広報と同時に自治会を通じて配布

回答期間 令和 2 年 8 月 26 日（水）～9 月 30 日（水）

設 問 回答者の属性、稲美町の生活環境、人口問題や住民協働に対する意見、町の施策に対する満足度と重要度、自由記述 等

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	空き家をなくす。
女性	30 歳代	空き家が多く、移り住みたい人は多いのに、制度(空き家バンク)が整っておらず断念する人が多い。
女性	40 歳代	空き家対策もしていただけたらと思います。空き家のままでは新しい世帯も増えません。空き家、土地を買って新しい家を建てる方が増えています。助成金を活用して何かいい方法を考えていただけたらどうかと思います。
女性	40 歳代	空き地の整備がなされていないため、草がすごく生えている、外土地であるが仕方なく草刈りをしている、どうにかしてほしい。
男性	50 歳代	これから空き家が増えてくると思います。空き家の増加は、治安や衛生、景観の低下の一因となったり、火災などの災害にもつながると考えます。空き家対策について国の方針を待たずに、町独自の施策を検討して下さい。
女性	50 歳代	空き家が増えてきているので、手放したい人、家が欲しい人双方にメリットがある方法があれば良いと思います。
男性	60 歳代	廃屋対策が必要。放置すると町全体の印象が悪くなり、人が寄りつかなくなる。放置農地対策が必要。他の農地に悪影響が出る、町の印象が悪くなる。
男性	60 歳代	空家・空地等が増加傾向にある状況下において街独自の法整備に取り組み、環境保全（美化）に推進願いたい。また、土山駅（北側）の道路拡張整備（明石市）に取り組み、稲美町住民が住みやすいハード環境づくりが必要と思う。農業人口の高齢化に伴う対策も急務。
男性	60 歳代	町でも空き家バンクなどの対策はされているが、空き家バンクに登録できるような状態ではなく、更地にするには費用も多くかかり、更地にしても売却できる便利な土地ではない。その上、固定資産税は大幅アップするとの事。このような状態では放置するしか仕方がない。何か方策はないものか。
女性	60 歳代	空き家の雑草が多く、環境が悪いので、気になります。

性別	年代	意見内容
女性	60 歳代	我が家の両隣および 200m 圏内には空き家が 4 件あります。厳しい法の壁に阻まれ、ただ朽ちていくのを見ながらの暮らしは不安です。国法ではできない事案でも条例で対処するという術はないのでしょうか？、全国に広がる空き家、雑草に覆われた土地。ここ稲美町から解決の一石を投ずることができるよう心から願っております。
女性	60 歳代	空き家の問題を早急に考えて欲しい。
女性	60 歳代	放置田や荒れた空き家が雑草だらけになり、放火等の心配もあり、害虫の被害等多大な迷惑を近隣の住民が被っている場所がたくさんあります。積極的に持ち主に働きかけて、住み良い安全な稲美町へと、空き家や空き地利用を考えて欲しいです。
女性	70 歳代	高齢化が加速する中、空家が目立ちます。この空家を”BANK”システムにして、都心の若い人たちを呼び込めないかと思えます。家も住む人ができ、荒れる事もなく田舎暮らしもできると思えます。
女性	70 歳代	空家の活用として、他国の人々を住ませる事は、元々の住民を不安がらせる(コロナ、その他)。
女性	70 歳代	素晴らしい環境の稲美町ですが、どちらの地区でも空家が無数にあり、管理もされず、近所住民には非常に辛い風景です。行政の元、まず人を増加させる方向の利用策を考えていただきたく要望致します。どなたにも明日は我が身です。
男性	80 歳以上	屋根の崩れた家屋は早急に始末する事。

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	空き家を活用した、おしゃれな古民家カフェを作って欲しい。